



計画の5つの柱

使命を果たすために、次の5つの柱を設定します。



柱1

本と出会う場所になる

【公共図書館としての存立基盤の整備】

市民参画・協働

市民の誰もが「図書館があってよかった」と思えるように、市民との対話、協働を通じてよりよい図書館へつなげていきます。

Keyword

「持続可能」な図書館運営

限られた人員と予算という厳しい状況が続く中で、質の高い図書館運営を持続していくための体制をつくっていく必要があります（補充完）

（1）市民との対話を通じて、地域自治の拠点としての図書館を育てていきます。



図書館そでて会議

・市民との対話
・カウンターやフロアでの日常的なやりとり
・「図書館でたて会議」の開催等

②有識者を交えて図書館の運営について協議・検証
・図書館協議会の開催等

（2）持続して図書館を運営できる体制を整えます。

①人材確保のための条件整備
・正規司書職員の継続的な確保
・社会教育や地域活動のコーディネーションなどの専門職の確保等
②図書館職員のスキルアップ
・司書の資質向上をめざした体系的な研修の受講
・社会の変化に対応した図書館サービ



研修…



研修…

・市民が市の取り組みを知り、考えるための資料展示
・市内の産業や取り組みをSDGsの観点で捉え直す資料収集と企画展示等
③市民のICTメディアリテラシーの向上の支援
・ICTが苦手な人に向けた情報機器やアプリの使い方、SNSや生成AIに関する講習会の開催
・進化した情報化社会への対応や情報格差をなくすような講習会等の開催等



（4）地域の中で図書館サービスを展開します。

①自動車文庫の運行
・巡回先、巡回ルートの見直しなど、利用実態にあわせたの運行を継続等
②市民の地域拠点や人が集う場所への図書館資料の提供
・公民館やコミュニティセンター等への団体貸出等



自動車文庫ぶっくるん



（5）すべての人に開かれた図書館サービスを構築します（読書バリアフリーの推進）

①アクセシブルな資料（大活字本、音訳・点訳資料、布絵本など）の提供
②年齢、性別、障害、民族など多様な背景や経験を持つ人たちが図書館サービスを利用できる環境の整備
・バリアフリー機器の導入検討
・図書館を届ける仕組みや来館しなくても利用できるサービスの検討
・「版」や「さくしよめ」の活用
・案内表示は大きく見やすい、色の組み合わせに注意する
・ホームページのアクセシビリティの向上等
③読書バリアフリーについての啓発
・読書バリアフリーに関する資料や情報の提供
・読書バリアフリーに関する講座・講演会、上映会等を開催
・市内関係部局や市民団体等との連携による情報提供や啓発企画の実施等
④外国ルーツの人たちへのサービス
・多言語の資料や情報の提供
・日本語学習に関する資料の提供
・市内関係部局や市民団体等と連携し、現状やニーズを把握等



ぼろぼろやねん

柱3

地域と出会う場所になる

【地域資源の再評価と新たな価値の創出】

市民と創る

市民が持つ地域に関する記憶・知恵・文化を、市民とともに、たのしみながら記録・蓄積・発信していきます。

（1）地域の人たちと一緒に地域の文化・歴史・くらしを再発見し、あらたな価値を創ります。

①地域の人たちに話を聞いて記録、発信していく



二小小学校の校歌を歌ってくださいみなさん



二小小学校の校歌を歌ってくださいみなさん

※「真庭校歌研究室」の継続
※市民と一緒に、市民からの情報提供により、真庭市内にあるあつた、学校情報、校歌の収集や整理、校歌の音源、作詞者、作曲者、エピソードなどを図書情報地域資料として収集するもの。収集した情報（図書館ホームページで発信している）

②劣化が進む郷土資料のデジタル化を進めます
①図書館が所蔵する紙の郷土資料をデジタル化、保存、活用する環境を整える
・デジタル化の基準や作業方法を示したマニュアルを作成
・継続して実施していく体制の検討等



あのごろへタイムスリッパ！

柱4

いつでも学べる場所になる

【知的探究に心えるコンテンツ戦略】

知る・学ぶ機会の共創

学びを支える基盤を整備し、情報へのアクセスを容易にするとともに、さまざまな機会との連携により、多様な学びの機会を創出します。

（1）誰もが学びやすい環境を整えます

①市民の「知りたい・調べたい」に応じたサービス
・資料の探索、探索方法の案内、関連・専門機関の紹介など調べものサポート（レファレンス）
・真庭市内のほか、他自治体図書館や国立国会図書館等からの資料取寄せ
・暮らしに役立つ情報、時事的・社会的な内容など多様なテーマでの関連図書展示
・市民が互いに教えあい、学びあう機会をつくる等



参考書などの持ち寄りコーナー

②全図書館でのFree Wi-Fi環境の維持
③関連部局と連携し、学びのスペース充実を検討



Wi-Fi

柱5

誰かにつながる場所になる

【市民がつながる地域交流拠点創出】

社会的包摂

年齢、性別、障害、民族など多様な背景や経験を持つ人々にとっての居場所となる、出会い、交流し、関係を育むことができる場になります。



Keyword

「人口×活動量」

①市民の発案によるイベントやプログラムの開催支援
※「勝山もちより盆踊り」
※市民有志とともにコロナ禍で休止していた勝山地区の盆踊りを復活させた取り組み



（1）市民の「やってみたい」に応えます

②居心地のよい環境の整備
・館内レイアウトの工夫（分りやすい棚出し、椅子や机、観葉植物やたつの設置等）
・BGM等快適な音環境の工夫
・利用者が目的に合わせて過ごせるようなゾーニング（静かに利用できるエリアや会話や活動ができるエリア等）
③利用者や図書館職員との日常的なコミュニケーションを大切にします



（2）用事がなくても気軽に「行ってみよう」と思われる図書館になります

①思いがけない本との出会いを創出
・多様なテーマでの図書展示
・イベントや企画にあわせた関連図書の展示
②居心地のよい環境の整備
・館内レイアウトの工夫（分りやすい棚出し、椅子や机、観葉植物やたつの設置等）
・BGM等快適な音環境の工夫
・利用者が目的に合わせて過ごせるようなゾーニング（静かに利用できるエリアや会話や活動ができるエリア等）
③利用者や図書館職員との日常的なコミュニケーションを大切にします



ポチ袋を作ろう！(久世)



フィンランド映画祭での移動サナ



フィンランド映画祭での移動サナ



外国ルーツの方とボードゲーム



フィンランド映画祭での移動サナ



フィンランド映画祭での移動サナ



フィンランド映画祭での移動サナ



フィンランド映画祭での移動サナ